

13. 人生100年時代のサイエンス科 (2024年度)

調整中

【 火曜日 授業予定表 】 講師:

2023.10.12現在

				午 前			午 後			
回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容	
1 学 期	1	8	月	①	①入 学 式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)					
	2	4	16	火	1	講義	科学技術の変革史	中村征樹(大阪大)	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション	
	3		23	火	2	講義	ゲノム編集による生命の不思議	伊川正人(大阪大)	高大オリエンテーション 終了後班役割説明・班各担当・班長決定	
	4	5	14	火	3	講義	ヒト疾患モデルマウス作成とその利用	河野憲二(奈良先端大)	自主活動	各担当別会議(代表者決定他)
	5		21	火	4	講義	遺伝子・ウイルス・iPS細胞と「クスリ」	水口裕之(大阪大)	〃	クラス委員長決定、第1回遠足行先検討
	6		28	火	5	講義	脳機能と運動 運動は認知症を 予防できるか	藤本繁夫(元大阪市立大学)	〃	
	7	6	4	火	6	講義	若返りは血管の老化防止から	高倉伸幸(大阪大)	②社会への参加活動(準備活動)(活動事例研究)	
	9		11	火	7	講義	細胞の老化と個体の老化	原 英二(大阪大)	自主活動	
	10		18	火	8	講義	PD-1と新しいガン免疫療法	石田靖雅(奈良先端大)	〃	
	11		25	火	③	★ ③遠 足 (1)				
	12	7	2	火	9	講義	高齢者の生活習慣病	杉本研(川崎医大)	自主活動	
	13		9	火	10	講義	タンパク質の科学	山口宏(関西学院大学)	〃	
	14		16	火	11	講義	自主活動		抗菌剤が効かない感染症時代を迎えて たちが知っておくべきこと～	掛屋 弘(大阪公立大)
	夏 休 み									
2 学 期	15	9	17	火	12	講義	スーパーコンピューター「富岳」に何が できる? ～未来社会の実現に向けて～	西之園真一(理化学研 究所)	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討
	16		24	火	13	講義	自主活動		漢方が導く心と体のレジリエンス	萩原圭祐(大阪大)
	17	10	8	火	14	講義	微生物によるプラスチック分解	吉田昭介(奈良先端大)	〃	コーダイフェスタ内容説明 参加対応検討
	18		17	木	④	★ ④コーダイ健康まつり				
	19		22	火	15	講義	紙の歴史と新たな可能性	古賀大尚(大阪大)	自主活動	コーダイフェスタ参加内容決定
	20		29	火	16	講義	微生物のバイオサイエンス	高木博史(奈良先端大)	〃	
	21		12	火	17	講義	微生物のバイオテクノロジー	高木博史(奈良先端大)	〃	コーダイフェスタ発表準備
	22	11	19	火	18	講義	食の安全(食中毒)	山崎伸二(大阪公立大)	〃	コーダイフェスタ発表準備仕上げ
	23		28	木	⑤	★ ⑤コーダイフェスタ				
	24	12	3	火	19	講義	世界の感染症(いかに防ぐか)	山崎伸二(大阪公立大)	自主活動	
25		10	火	20	講義	水素 ～作る・貯める・運ぶ・使う～	井上博史(大阪公立大)	〃		
26		17	火	21		自主企画講座		〃		
冬 休 み										
3 学 期	27	1	14	火	22	講義	共創社会のなかでのデザイン思考	市田秀樹(大阪公立大)	自主活動	成果発表会内容検討
	28		21	火	⑥	★ ⑥社会への参加活動・・・(仮日程:1学期～3学期の間に活動日を1回設定)				
	29		28	火	23	講義	これからの宇宙開発と生命(誕生)の痕跡 を求めて	寺田健太郎(大阪大学)	〃	成果発表会準備
	30	2	4	火	24	講義	遺伝子組み換え食品	半場祐子(京都工繊大)	〃	成果発表会準備
	31		18	火	25	講義	地球温暖化・都市温暖化	半場祐子(京都工繊大)	〃	成果発表会準備
	32		25	火	26	学習成果発表会				
	33				⑦	⑦修了式				
	34	3	4	火	⑧	⑧・⑨卒業旅行(1泊2日)				
35		5	水	⑨						
授 業(自主企画、成果発表会)				26(講座数列1～26)						
学 習 事 業 (① ～ ⑨)				9(講座数列①～⑨)						
合 計				35						

2023.10.12 作製

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。